

単 元 名	シュートゲーム		配当時間	7時間
単元の目標	(1) ルールを守り，互いに仲よくゲームを行い，勝敗を素直に認めようとする。 (2) ゲームを楽しむための簡単なルールを工夫することができる。 (3) ボールを投げたり，捕ったりして楽しくシュートゲームをすることができる。			
単元を構想する上での留意点	シュートゲームとは，手でボールを投げたり捕ったりして，相手ゴールにシュートし得点を競い合うボールゲームである。ボールを転がしたり投げたりするのゲームの発展としてのゲームであり，中学年のバスケットボール型ゲームにつながっていく。本単元では，児童にルールを工夫させ，学び方の内容を深めていき，友達とのかかわりを大切にしながら運動の楽しさを味わえるようにする。。			
単元展開例				
準 備	ドッジボール，段ボール箱，カラーコーン，ハードル，ミニゴール，対戦表 など			
学 習 活 動			留 意 事 項 など	
1 シュートゲームのねらいと内容を理解し，学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 <div>ルールを工夫してシュートゲームを楽しもう</div> ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○1人でボールを使って遊ぶ。 ・上に投げて捕る。 ・ボールをつく(ドリブル) ・転がしたボールを追いかけて捕る。 ・的当て(箱，カラーコーン) ・的通し(ハードル) など ○2人以上でボールを使って遊ぶ。 ・2人組で対人パス ・ボールの取り合い ・守りをつけて的当て など 2～3 簡単なルールでシュートゲームを楽しむ。 (ねらい1)  ○チームをつくる。 ○1人でボールを使って遊ぶ。 ○2人以上でボールを使って遊ぶ。 ○ゲームの進め方の確認をする。 ・ルール ・マナー ・対戦相手  ○チームのめあてや作戦を話し合う。  ○第1ゲームをする。 ○反省し，練習をする。  ○第2ゲームをする。 ○反省し，まとめをする。			・ルールを工夫して，友達と仲よくシュートゲームをすることを知らせる。  ・人数分ボールを用意する。  ・グループは自由につくらせる。 評楽しくボール遊びを行う活動を通して，「関心・意欲・態度」を評価する。  ・1チーム4～6人，男女混合で編成する。 ・1時に行った遊びをチームで選んだり，工夫したりして行わせる。 ・いろいろなチームと対戦することを知らせる。 ・ルールの例 ゴールはミニゴールを使用する ボールはドッジボール1号 シュートが入ったら1点 1チームずつシュートする キーパーなし 1ゲーム4～6分 など ・めあてを立てられないチームには，話し合いに教師が加わって助言する。  ・ゲームの結果から，チームのめあてにそった動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。	

<p>・めあて ・作戦 など</p> <p>4～6 ルールを工夫してシュートゲームを楽しむ。 (ねらい2)</p> <p>○ボールを使って遊ぶ。 ○ルールについて話し合う。</p> <p>○ゲームの進め方の確認をする。 ・ルール ・マナー ・対戦相手 ○チームのめあてや作戦を話し合う。</p> <p>○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。</p> <p>○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 ・ルール ・マナー ・めあて ・作戦 など</p> <p>7 シュートゲーム大会をする。 ○リーグ戦やトーナメント戦でシュートゲーム大会をする。</p> <p>○単元のまとめをする。</p>	<p>・工夫したルールの例 ゴールはサッカーゴールを使用する 相手チームはゴール前で守る 危険なことをしたら相手ボール 全員にパスをしてからシュートをする ボールを持ったら、歩くのは5歩まで など</p> <p>・同じチームと2ゲーム行うことを知らせる。</p> <p>・めあてを立てられないチームには、話し合いに教師が加わって助言する。</p> <p>・ゲームの結果から、チームのめあてにそった動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。</p> <p>・第1ゲームと同じチームと対戦する。 [評]工夫したルールでゲームをする活動を通して、「思考・判断」を評価する。</p> <p>・試合方法は、学級の実態に応じて決める。 [評]シュートゲーム大会を通して、「技能」を評価する。</p> <p>・チームでの話し合いや自己評価などをさせる。</p>
--	---